待ちに待った給食
ごはん　おひたし
さばの香草焼き
鶏だんご汁

ほぼ日刊 夢の華
carat（カラット）

第７４８号
神町中学校　夢色通信社
令和２年10月29日

神町中学校の皆さんへ

こんにちは。教育実習でお世話になりました文教大学４年の植松真哉です。今回は、２週間という短い実習期間の中で神町中学校について感じたことを、お手紙として書かせていただきます。

まずは、２週間本当にありがとうございました。優しい先生方と元気な神中生に囲まれて、多くの学びとともに楽しい時間を過ごせ、とても幸せな時間となりました。そんな実習の中で、たくさんの神中の良いところを見ることができました。その中のいくつかを書かせていただきます。

１つ目は挨拶です。実習初日、昇降口でその場に立ち止まり大きな声で挨拶をしてくれた人がいました。その時、「なんと素晴らしい学校なのだろう」と卒業生ながら感動したのを覚えています。朝だけでなく、廊下ですれ違う際にたくさんの挨拶をしてもらいました。その度に元気をもらえて、「今日も１日頑張ろう！」と思うことができました。ぜひこれからも、この素晴らしい挨拶を沢山の人にしてください！

２つ目は、自分たちで学校を良くしようとしていることです。私の実習期間に、自転車の乗り方が悪いことから自転車通学が禁止になりました。私がいた７年前は、このようなルールはありませんでした。生徒会や３年生を中心に、良い学校の雰囲気をつくることができている証拠だと感じました。

３つ目は、伝統をつなぐということです。皆さん、先日の合唱コンクールはいかがでしたか？勝ち負けはもちろんありますが、それ以上に合唱を通してクラスのきずなが深まったり、友達の新しい一面に出会うことができたのではないでしょうか？ また、合唱コンクールと全校制作は、私が中学生の時もありました。それだけでなく、その前の先輩からずっと受け継がれてきた神町中学校の伝統です。みんなで１つのものをつくりあげる大変さや、完成した時の達成感を味わうことができたのではないでしょうか。今回学んだことを、これからの学校生活に生かして下さい！ そして、後輩の皆さんはこの良い伝統を受け継ぎ、後輩に伝えていって下さい。卒業生の私には、いつまでも神町中学校で学んだ３年間は誇りであり、宝物です。ぜひ皆さんも、最高の学校生活になるよう、勉強、スポーツ、遊びに全力で取り組んでください。本当に２週間、最高でした！！ ありがとうございました。

教育実習生　植松真哉